

2017年8月21日

「2100形」車両をイメージしたバスが三浦半島を走る！ 2階建てオープントップバス「KEIKYU OPEN TOP BUS」導入

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，取締役社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，三浦半島を走る2階建てオープントップバス「KEIKYU OPEN TOP BUS」を今秋に運行開始いたします。

このバスは，2階席の屋根がなく開放的な空間で，約3.5mの高さから雄大な空や海，大根畑など三浦半島ならではの美しい景色を見晴らすことができ，オープントップバスでしか味わえない風景や風，香りをお楽しみいただけるバスとなっております。

バス車両は，当社のウィング号などで使用しているオールクロスシート電車の「2100形」をイメージした車体に当社マスコットキャラクター「けいきゅん」の顔を前面にデザインしております。

2階席の床や壁，座席などは「2100形」をイメージしたカラーリングになっており，1階席は「2100形」で実際に使用されているクロスシートの生地を座席に使用しております。

また，ナンバープレートは，モデルの車両となった「2100形」にちなんで「21-00」としているほか2019年に開催される，ラグビーワールドカップを記念して交付されている，記念ナンバープレートのデザインを採用しております。

京急電鉄では「KEIKYU OPEN TOP BUS」の運行を通して，更なる三浦半島の魅力を発信してまいります。詳細は，別紙のとおりです。



「KEIKYU OPEN TOP BUS」前面外装



【2階席】屋根がなく
開放的な座席



三浦半島の田園風景

「KEIKYU OPEN TOP BUS」について

1. 車両概要

- (1) 車種
三菱ふそう エアロキング
- (2) 旅客定員
2階席 42名
- (3) 全長
11.99m



「KEIKYU OPEN TOP BUS」前面外装

- イ. 当社車両「2100形」をイメージしたカラーリング
- ロ. 当社マスコットキャラクター「けいきゅん」の顔を前面にデザイン
- ハ. 2019年に開催されるラグビーワールドカップ記念ナンバープレートを採用し
ナンバーは当社車両「2100形」にちなんだ「21-00」を採用
- ニ. 屋根のシートは当社車両2100形の屋根色類似カラーを採用。



バスのモデル車両「2100形」



京急電鉄マスコットキャラクター
「けいきゅん」



ナンバープレート「21-00」

(5) 内装デザイン

- イ. 2階席は当社車両「2100形」の壁や床の類似カラーを採用し、座席も2100形をイメージしたカラーリングを採用。また、快適に乗りいただけるよう座席のクッション性を高め、シートピッチ780mmを確保。
- ロ. 1階席は当社車両「2100形」に実際に使用されているクロスシートの生地や、カーテンを採用し、窓下の壁や床も類似カラーを採用。
※1階席については補助席となります。
- ハ. 当社車両「2100形」と同様の車号銘版デザインを採用。



【2階席】屋根がなく開放的座席



【2階席】広々快適なシート間



【1階席】2100形クロスシート採用

2. 車両外観



3. 運行について

「KEIKYU OPEN TOP BUS」の運行は、今秋を予定しております。
三浦半島を熟知したバスガイドが見どころをご案内いたします。
運行の詳細については9月下旬発表を予定しております。

以上